

プエッザー会 宿泊関係者500人参加 タユー 矢ヶ崎氏が記念講演

ホテル・旅館専門の総合エン지니어リング会社。タップは11月21日、同社ホテルシステムのエューザーが集う「2022年度タップエューザー会」を帝国ホテル東京で開いた。約500人が参加した。



タップが開催した2022年度エューザー会

ホテル・旅館専門の総合エン지니어リング会社。タップは11月21日、同社ホテルシステムのエューザーが集う「2022年度タップエューザー会」を帝国ホテル東京で開いた。約500人が参加した。

タップ代表取締役会長 兼社長の林寛男氏は、同社の現状について「おかげさまで創業35周年を迎えることができました。現在のグループ社員数は3000人を超え、エューザー宿泊施設数は1000軒・25万室に達した。今後は

ホテルに加えて、旅館、ムコソナ橋の経験を踏まえての展望も実施。矢ヶ崎教授は次のように話した。

「旅行で縁く外貨はモロで縁く外貨とは違う。富士山は海外に持ち出せないが、そのような国内観光資源を使って縁く業。国の成長戦略の柱としての重要性はますます



観光論文コンテスト
最優秀賞は赤木拓真氏
タップアワード

「2022年度タップエューザー会」で、同社が主催する懸賞論文コンテスト最優秀賞を受賞したの、木拓真氏の「Zero UI」を指摘して、ホテル・旅館業におけるユタの蓄積を滞在体験に生かすシステム「見えるホテル」などを提案。「海外の友人と話をすると、日本に対して『ハイテク』なイメージを強く抱いている。『おもてなし』の人々の優しさ」に期待したりする声をよく聞く。科学技術とおもてなしの両方を兼ね備えた、新しい観光客を呼び寄せる美徳であり、強みであるといえる。Zero UIによるホテル・旅館業DXは、テクノロジーを

を使いながら宿泊客の希望や要望に寄りそう、いわば『ハイテクおもてなし』だ。その一方で、これらの手法は特殊な装置を必要とせず、導入にかるコストも抑えられる。ため、幅広いホテルで用いることが可能。Zero UIの考え方を導入することで、来るインバウンドの再開や観光業の復興局面において、新しい顧客体験を提供することができるのではないだろうか」と論じた。

高まっている。そして地域にお金を回す力が最も強いのが宿泊業だ。また宿泊施設が、地域のシャケースとなることで、地域の文化、技術、素材を後世に残し、伝えることが可能となる」。その上で「日本の自動車産業にはイノベーションがある。観光産業(宿泊業)にもイノベーションが必要だ。またDMOには全体をコーディネートする機能がさらに求められている」と強調し、宿泊業界から編まった参加者にエールを送った。

【江口英一】

「Zero UI」を指摘して、ホテル・旅館業におけるユタの蓄積を滞在体験に生かすシステム「見えるホテル」などを提案。「海外の友人と話をすると、日本に対して『ハイテク』なイメージを強く抱いている。『おもてなし』の人々の優しさ」に期待したりする声をよく聞く。科学技術とおもてなしの両方を兼ね備えた、新しい観光客を呼び寄せる美徳であり、強みであるといえる。Zero UIによるホテル・旅館業DXは、テクノロジーを

「Zero UI」を指摘して、ホテル・旅館業におけるユタの蓄積を滞在体験に生かすシステム「見えるホテル」などを提案。「海外の友人と話をすると、日本に対して『ハイテク』なイメージを強く抱いている。『おもてなし』の人々の優しさ」に期待したりする声をよく聞く。科学技術とおもてなしの両方を兼ね備えた、新しい観光客を呼び寄せる美徳であり、強みであるといえる。Zero UIによるホテル・旅館業DXは、テクノロジーを